



釧路市長  
えびな 大也

市民の皆様におかれましては、新春を健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大による、市民生活や経済活動へ及ぼす影響が大きく、これまで当たり前であった「日常」が失われてしまった一年となりました。それに加え、年末には釧路市の基幹産業の一翼を担う、日本製紙株式会社釧路工場にかかる重大なニュースが流れるなど、厳しい一年となったところでございます。

この間、市民の暮らしや経済を支える事業者の支援に全力で取り組むとともに、医療現場の負担軽減や検査能力の拡大を図る、釧路PCR検査センターの開設などを進めてまいりました。現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発も進んでおり、市民の皆様には、引き続き感染予防へのご協力をいただきますようお願いいたしますとともに、この状況を乗り切って、最良の一年にすべく、感染拡大防止と経済の活性化の両立を目指し、さまざまな施策に取り組んでまいり所存でございます。

令和3年度は、釧路市では初めての義務教育学校である阿寒湖義務教育学校が開校するほか、新たな学校給食センターの建設に向けた取り組みも進み、さらに「GIGAスクール構想推進事業」により、小中学校における児童生徒一人1台端末体制での教育活動が始まることとなります。次代を担う子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出せるよう、充実した教育が実現できる環境づくりに引き続き努めてまいります。

また、東京オリンピック・パラリンピックに向け、ベトナムパラリンピック選手団の直前合宿を受け入れる予定となっており、ホストタウンとして皆様の活躍を応援してまいりたいと考えております。

9月には北海道を舞台にアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021が開催されます。釧路市においても、サミット前の1週間、アドベンチャー体験ツアーで釧路市の豊かな自然や文化を満喫するため、世界中からお客様が訪れる予定となっております。

厳しい状況にあっても、決して歩みを止めることなく、市民の皆様が釧路市の未来に希望を持つことができるよう、着実にまちづくりを進めてまいり所存でございます。

新しい年が市民の皆様にとりまして、実り多い素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

2021年  
令和3年

年頭に  
あたり

丑



釧路市議会議長  
まつなが まさあき  
松永 征明

市民の皆様には、新しい年の始まりを健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、外出自粛や働き方の変化など、私たちを取り巻く生活環境や地域経済に大きな影響を与えたところであります。また、昨年100年にわたり釧路市の基幹産業として、経済を支えてきた日本製紙株式会社釧路工場の生産停止という誠に残念な発表もありましたが、このような社会情勢の変化をしっかりと受け止め、地域が一体となって知恵や資源を集結し、地域経済の回復に向けて取り組みを進めてまいりました。

これまで市議会では、市民の皆様を代表する議会として、「開かれた議会」「政策の提案機能・監視機能の強化」を目指し、議会基本条例をもとに議会改革や議会の活性化に向けて、さまざまな取り組みを進めております。その取り組みの一つとして、昨年の12月定例会において委員会条例を改正し、市の一年間の施策の基本となる予算とその執行結果である決算を専門的に審査する「予算決算常任委員会」を新たに設置することといたしました。本年2月定例会より審査を開始することとなりますが、この常任委員会の設置に伴い、決算審査で明らかになった課題を次の予算に反映するといった、予算から決算までの審査のサイクル、連動が今まで以上に図られることとなります。市議会といたしましても、市の施策に対するチェック機能を一層高めていくとともに、議員一人ひとりが市民の皆様のニーズをしっかりと汲み上げて市政運営に反映させてまいりたいと考えております。

釧路市では少子高齢化や働く世代の流出増などに伴う人口減少問題、地域経済の活性化、雇用の拡大と人材確保など、さまざまな課題を抱えておりますが、これらの難題に立ち向かうためには、地域の実情に応じた対策を講じ、将来に希望を持てる持続可能なまちづくりが重要であります。市議会といたしましても、議会の果たすべき役割と責務を自覚し、活発で実効性のある開かれた議会、行動する議会を目指して、議員一同全力で取り組み、皆様のご期待に応えていく所存でございます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。